

トピックス

前島密没後100年記念

「鴻爪痕—HISOKA MAEJIMA—」展

岩島 美月

前島密は「日本近代郵便の父」として知られ、近代国家のインフラ構築等多くの功績を残した。2019年が前島密の没後100年にあたる年であることを記念して、その功績やその人生を紹介する展覧会を開催した。

本展は、第1章「男子いやしくも志を立つ」、第2章「新しい国づくり」、第3章「消えぬ鴻の爪痕」の3部で構成、当館収蔵資料約120点を展示した。

伝記『鴻爪痕』等をもとに、第1章では、生い立ちから学問を貪欲に学んだ青年時代や幕臣時代の足跡、第2章では通信・交通等のインフラ構築をはじめとする明治期の功績について紹介した。第3章では、大隈重信、渋沢栄一等が語った前島密評や自筆書画、当時の写真資料等を展示し、前島密の知られざる一面を明らかにした。また、母ていが密を教え導いた言葉や前島密のエピソードなどをトピックス的に配し、より等身大の前島密像に迫った。

展示の他、関連イベントとして「『日本文明の一大恩人』前島密考」と題した記念シンポジウム、郵政博物館館長による二日間の講座「鴻爪痕—前島密創業の精神と業績—」等を実施した。記念シンポジウムについては、本号特集に詳細を紹介している。

「鴻爪痕—HISOKA MAEJIMA—」展 主な展示資料リスト（※すべて郵政博物館収蔵）

	資料名	制作者等	製作年	前期	後期
1	竜門切手の貼られた状箱	大久保大蔵卿→ 坂田出納助殿	辛未（明治4年）8月17日付与	○	○
2	日米郵便交換条約の全権付与状（勅旨）		明治6（1873）年	○	○
3	貯金通帳		明治8（1875）年	○	○
4	貯金通帳（未使用）		明治10（1877）年	○	○
5	竜切手模刻原版（48文）			○	○
6	竜切手模刻原版（48文）			○	○
7	〔雅印〕 鴻爪			○	○
8	〔雅印〕 鴻爪居士			○	○
9	〔雅印〕 雪泥鴻爪			○	○
10	〔雅印〕 鴻爪印			○	○
11	〔雅印〕 鴻爪真逸			○	○
12	〔雅印〕 別是蓬萊第一峰			○	○
13	〔雅印〕 皎如玉樹臨風前			○	○
14	〔雅印〕 相思			○	○
15	甲東大久保公書簡			○	○
16	伊藤博文書簡		明治30（1897）年	○	○
17	竹内卯吉郎先生親筆機関図	竹内卯吉郎		○	○
18	（写真）前島密肖像			○	○
19	（写真）前島密肖像		明治10（1877）年前後	○	○
20	（写真）前島密肖像			○	○

21	(写真) 前島肖像			○	○
22	(写真) 前島肖像			○	○
23	(写真) 前島肖像			○	○
24	〔辞令〕(任租税権正)		明治3年4月(1870年5月)	○	○
25	〔辞令〕(兼任駅通権正)		明治3年4月(1870年5月)	○	○
26	〔辞令〕(任駅通頭)		明治4年8月(1871年10月)	○	○
27	〔辞令〕(内務郷不在中御用弁の為毎日午前第九時ヨリ太政官へ出勤可致事)		明治10(1877)年	○	○
28	〔辞令〕(東京盲啞学校商議委員ヲ囑託ス)		明治34(1901)年	○	○
29	〔辞令〕(内国勸業博覧会審査官長被仰付候事)		明治10(1877)年	○	○
30	太政官札(金壹分)		慶應戊辰(1868年)	○	○
31	辞令(袋井局長田代八郎氏の辞令)			○	○
32	各地時間賃表 大阪版(明治4年)		明治4(1871)年	○	○
33	郵便報知新聞発行の趣意書		明治5(1872)年	○	○
34	郵便報知新聞			○	○
35	郵便報知新聞綴		明治6(1873)年	○	○
36	郵便決議簿 弐号		明治3(1870)年	○	○
37	郵便決議簿 弐号		明治4(1871)年	○	○
38	郵便現業絵巻 其一	久保田米僊	明治26(1893)年	○	○
39	郵便現業絵巻 其弐	久保田米僊	明治26(1893)年	○	○
40	郵便取扱の図	柴田真哉	明治17(1884)年	○	○
41	三国通覧記(全)(筆書)	林子平原著	文政3(1820)年写本	○	○
42	国防地理書『三国通覧図説』の付図		天明5(1785)年	○	○
43	東京府下名所尽・四日市駅通寮	歌川広重(三代)	明治7(1795)年	○	
44	東京両国通運会社川蒸汽往復盛栄真景之図	歌川重清	明治10年代		○
45	内国通運会社の広告	山崎年信(初代)	明治10(1877)年	○	
46	東京名所銀座通 朝野新聞社盛大之真図	歌川広重(三代)	明治12(1879)年	○	
47	古今東京名所 日本橋大名の行列・日本ばしより宝町の図	歌川広重(三代)	明治17(1884)年	○	
48	浅草並木人力車の賑ひ	昇齋一景	明治4(1871)年	○	
49	東京汐留鉄道館蒸汽車待合之図	歌川広重(三代)	明治6(1873)年		○
50	内国通運会社の広告	山崎年信	明治初年		○
51	古今東京名所 江戸橋土手蔵日本橋・江戸橋三つ菱の荷蔵	歌川広重(三代)	明治16(1883)年		○
52	古今東京名所 よろひのわたし小あみ町・よろひはし兜町	歌川広重(三代)	明治17(1884)年	○	
53	官員商人振分出世双六	梅寿国利	明治前期	○	
54	古今東京名所 尾張町恵比寿や布袋屋吳ふく屋・おハリ町日々新聞日报社	歌川広重(三代)	明治17(1884)年		○
55	東京豪商寿語六	歌川広重(三代)	明治7(1874)年		○
56	東京名所京橋鉄道馬車往復煉瓦家ノ図	歌川広重(三代)	明治15(1882)年	○	
57	東京第一之劇場 新富座大当ノ図	歌川広重(三代)	明治14(1881)年		○
58	東京名所日本橋馬車鉄道図	歌川重清	明治15(1882)年		○
59	東京高輪鉄道蒸汽車走行之全図	一曜齋国輝	明治4(1871)年	○	
60	東京名所両国報知社図	歌川広重(三代)	明治9(1876)年		○
61	鉄道馬車往復京橋煉瓦造ヨリ竹河岸図	歌川広重(三代)	明治15(1882)年		○
62	東京府下自慢競 江戸橋駅通寮	歌川国輝(二代)	明治7(1874)年5月		○
63	明治天皇御東行御供奉御行列之図	新井春位(写)	明治元(1868)年	○	○
64	長崎居留地坪数絵図			○	○
65	東京名所之内 上野山内一覽之図 内国勸業博覧会	暁齋	明治10(1877)年		○
66	下田港見取絵図			○	○
67	函館分間絵図			○	○
68	東海道宿村大概帳	道中奉行所		○	○
69	梅の朽枝	前島密		○	○
70	内国通運会社の創設	前島密		○	○
71	外国郵便(鴻爪痕草稿)	前島密			○
72	鴻爪痕 巻之第一	前島密		○	○
73	東海道徒歩旅行の苦心逸話記(鴻爪痕草稿)	前島密		○	○
74	宮島誠一郎上京ノ道ヲ開ク	前島密		○	○

75	[蒸気機関学入門講義筆記]			○	○
76	忍草 (長女不二子への書簡集) 全5巻1	高田不二子 編		○	○
77	忍草 (長女不二子への書簡集) 全5巻2	高田不二子 編		○	○
78	忍草 (長女不二子への書簡集) 全5巻3	高田不二子 編		○	○
79	忍草 (長女不二子への書簡集) 全5巻4	高田不二子 編		○	○
80	忍草 (長女不二子への書簡集) 全5巻5	高田不二子 編		○	○
81	書軸 電象の姿図	奥田芳彦		○	○
82	電象の由来書	前島密		○	○
83	興国文廃漢字議	前島密	明治6 (1873) 年	○	○
84	ローマ字式新假名文字 (前島密の所見)	前島密	明治期	○	○
85	鴻爪痕 (初版本)	前島密 発行	大正9 (1920) 年	○	○
86	まいにちひらかな志んぶん志 だい百八十三ばん		明治6 (1873) 年	○	○
87	余カ西洋行ハ郵便事業ニ大利益ヲ与ヘタリ	前島密		○	○
88	郵便為替	前島密		○	○
89	掖済会の証状 (締盟状)		明治38 (1905) 年10月21日	○	○
90	[伊藤博文四字額] ([釣深致遠])	春畝山人博文 (伊藤博文)	明治14 (1881) 年	○	○
91	[杉浦讓 辞令書] (任職通正)		明治4 (1871) 年	○	○
92	黒塗柱箱 (模造)		明治5 (1872) 年	○	○
93	竜文切手 (48文)		明治4年3月1日 (1871年4月20日)	○	○
94	竜文切手 (100文)		明治4年3月1日 (1871年4月20日)	○	○
95	竜文切手 (200文)		明治4年3月1日 (1871年4月20日)	○	○
96	竜文切手 (500文)		明治4年3月1日 (1871年4月20日)	○	○
97	郵便創始50年記念切手		大正10 (1921) 年4月20日	○	○
98	万国郵便連合加盟50年記念切手		昭和2 (1927) 年6月20日	○	○
99	普通切手 (第1次新昭和切手) 15銭		昭和21 (1946) 年11月20日	○	○
100	郵便創始75周年記念切手 小型シート		昭和21 (1946) 年12月12日	○	○
101	普通切手 (第2次新昭和切手) 1円		昭和22 (1947) 年8月10日	○	○
102	郵便創始80周年記念切手 小型シート		昭和26 (1951) 年4月14日	○	○
103	普通切手 1円		昭和26 (1951) 年4月14日	○	○
104	普通切手 1円		昭和43 (1968) 年1月10日	○	○
105	郵便90年記念切手		昭和36 (1961) 年4月20日	○	○
106	普通切手 1円		昭和27 (1952) 年8月11日	○	○
107	郵便切手の歩みシリーズ切手 第1集 (前島密と竜切手)		平成6 (1994) 年8月10日	○	○
108	前島密の書 (二行書)	前島密	明治13 (1880) 年	○	○
109	各地諸物賃運送賃銭表 (明治5年)	陸運元会社 発行	明治5 (1872) 年	○	○
110	横浜郵便局開業之図	歌川広重 (三代)	明治8 (1875) 年	○	
111	《前島密業績絵画》 勲業博覧会の開催	前田青邨監修・ 守屋多々志画		○	
112	《前島密業績絵画》 電話の開始	前田青邨監修・ 守屋多々志画		○	○
113	《前島密一代記》 母と別れて	梶鮎太画	昭和60 (1985) 年	○	○
114	《前島密一代記》 江戸への旅立ち	梶鮎太画	昭和60 (1985) 年	○	○
115	《前島密一代記》 黒船ショック	梶鮎太画	昭和60 (1985) 年	○	○
116	《前島密一代記》 学問の大切さを知る	梶鮎太画	昭和60 (1985) 年	○	○
117	《前島密一代記》 英語教師となったが	梶鮎太画	昭和60 (1985) 年	○	○
118	《前島密一代記》 幕臣となって	梶鮎太画	昭和60 (1985) 年	○	○
119	《前島密一代記》 徳川とともに静岡へ	梶鮎太画	昭和60 (1985) 年	○	○
120	《前島密一代記》 密と新時代	梶鮎太画	昭和60 (1985) 年	○	○
121	《前島密一代記》 郵便の仕組みを作る	梶鮎太画	昭和60 (1985) 年	○	○
122	《前島密一代記》 郵便の基礎を築く	梶鮎太画	昭和60 (1985) 年	○	○
123	《前島密一代記》 外国との郵便	梶鮎太画	昭和60 (1985) 年		○

(いわしま みづき 郵政博物館主席学芸員)